

「令和8年度 ここ未委第30号（仮称）静岡市こども計画策定業務」に係る公募型プロポーザルにおける質問に対する回答

No.	質問	回答
1	令和5～7年度に実施された「各調査」について、(1)調査名、(2)調査対象、(3)サンプル数(回収数)、(4)受託者へのデータ提供形式(ローデータ/集計済みデータの別、ファイル形式等)をご教示ください。	別紙1 詳細のとおりです。
2	令和6年度に作成された静岡市子ども・子育て支援事業計画について、(1)現時点で確定済みかどうか、(2)本業務において単に内容を転記するのみか、それとも本計画策定の進行に合わせて再構成・修正等の作業が想定されるか、をご教示ください	(1)本市が策定した「静岡市子ども・子育て支援事業計画」は令和8年現在で確定済みの計画です。 (2)本業務における計画への記載は、内容の転記のみを想定しています。
3	計画書、計画書(概要版)、計画書(やさしい版)それぞれについて、フルカラー印刷とすることが可能な部分の想定割合、またはページ数の目安(例:全体の〇割以内、表紙のみフルカラー等)があればご教示ください。また、見積算定上の前提として想定すべきフルカラーページ数の目安があれば併せてご教示ください。	いずれの計画書においても、表紙及び挿絵のみフルカラーを想定しております。そのほか内容掲載部分については、黒ともう1色の2色を想定しています。ただし、グラフや表など図示して説明する部分について、フルカラー表示の方が視覚的説明に有効であると判断されるものについては、その限りではありません。 フルカラーのページ数は表紙及び改ページ等で発生する空欄部分を埋める挿絵数点のみを想定しています。
4	計画書(やさしい版)について、(1)外国語訳(英語等の多言語版作成)が業務範囲に含まれるか、(2)含まれる場合、対応すべき言語と各言語の部数、(3)含まれない場合、外国籍の方への配慮としてはやさしい日本語およびルビでの対応で足りるかをご教示ください。	(1)計画書はいずれも日本語版のみ作成することを想定しています。 (3)外国籍の方への配慮の方法については、お示しの事例で足りませんが、その他の方法のご提案を制限するものではありません。
5	こども・子育て会議(全4回程度)について、各回で受託者が作成する資料(例:論点整理資料、計画骨子案、計画素案、アンケート結果報告書等)の想定範囲・分量の目安をご教示ください。	こども・子育て会議では、計画策定における趣旨や進捗状況などについて、有識者から意見聴取を行います。各会議にて報告する内容に応じて、進捗状況がわかる一覧やアンケート結果の速報値など、意見聴取する上で必要な情報を整理した資料作成のサポートをお願いすることになります。会議における報告作業は事務局側が行います。
6	静岡市内に事務所を有していない参加者は、市民税納税証明書の提出は不要もしくは、本店所在地の市町村が発行する市民税納税証明書を提出のどちらでしょうか。	静岡市内に事業所を有していない参加者は、事業所が所在地である市町村の市民税納税証明書の提出をお願いします。支店が静岡市内にある参加者は、選定されたのち主たる契約者となる事業所の所在する市町村の市民税納税証明書の提出をお願いします。
7	提出書類になっている「こども計画策定業務実績報告書」については、実績を証明する書類(契約書の写しなど)を添付する必要があるか。	様式3「こども計画策定業務実績報告書」には契約書の写しなどの添付は不要です。記載いただいた内容について、事前もしくはプロポーザル審査の時点で、こちらから確認することがあります。

※質問内容は、質問者が特定されないよう、趣旨をそのままに原文から修正しております。

※同様の質問については、一つに集約して回答しております。

Q No.1 令和5～7年度に実施された「各調査」について、(1)調査名、(2)調査対象、(3)サンプル数(回収数)、(4)受託者へのデータ提供形式(ローデータ/集計済みデータの別、ファイル形式等)をご教示ください。

A No.1 これまでに実施した調査は次の4つです。

	(1)調査名	(2)調査対象	(3)サンプル数(回収数)	(4)受託者へのデータ提供形式
1	令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」	①就学前児童用：就学前児童(0～5歳)を養育する保護者 5,000人 ②就学児童用：小学生(1年生～6年生)を養育する保護者 2,000人	①就学前児童用：2,411人 ②就学児童用：923人	ローデータ、集計済みデータ (いずれもExcel)
2	令和7年度 静岡市こどもの生活実態調査	①一般調査 ア 5歳のこども(年中相当)の保護者 1,500世帯(無作為抽出) イ 10歳のこども(小学5年)とその保護者 1,869世帯 ウ 13歳のこども(中学2年)とその保護者 1,495世帯 エ 16歳のこども(高2相当)とその保護者 1,500世帯(無作為抽出) ②制度利用者 生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯のうち、0歳から17歳(令和7年4月1日現在)のこどもとその保護者2,000世帯(無作為抽出)	①一般調査 ア 763人 イ 1,770人 ウ 1,139人 エ 715人 ②制度利用者 711人 ※サンプル数は保護者とこどもの合算値	ローデータ、集計済みデータ (いずれもExcel)
3	令和7年度 静岡市子ども・若者実態調査	小学生：静岡市内小学校5・6年生(葵、駿河、清水区における公立校から各区2校を抽出) 中学生：静岡市内中学校1・2・3年生(葵、駿河、清水区における公立校から各区2校を抽出) 高校生：静岡市内高等学校1・2・3年生(公立校3校及び私立校1校を抽出) 青年：市内在住の18歳～39歳 保護者：静岡市内小学校、中学校、高等学校の保護者	小学生：465人 中学生：298人 高校生：444人 青年：280人 保護者：643人	ローデータ、集計済みデータ (いずれもExcel)
4	静岡市ひとり親家庭等自立促進計画策定に係るアンケート調査(令和7年度実施)	ひとり親世帯(児童扶養手当受給者) 960人(無作為抽出) 寡婦世帯 40人 合計1,000人	489人	ローデータ